

### 基山町まちづくり提案書

基山町まちづくり基本条例第16条の規定に基づき下記のとおり提案します。

提案期日	平成25年 9月 30日	
提案件名	新たに建設される歴史民俗資料館の収蔵庫ならびに運営	
提案者	住所又は所在地	大字小倉 545-11
	氏名又は名称	中島 恒次郎
	※提案者が基山町の住民でない場合は、勤務先又は通学先も記入して下さい。	
	提案書の公表にあたり、住所、氏名及び連絡先の公表を希望しますか。 希望する <input checked="" type="radio"/> 一部希望する (住所・氏名のみ公表) <input type="radio"/> 希望しない	
※未成年者が氏名等の公表をする場合は、法定代理人の承諾が必要です。		
提案の概要	中央公園に建設される歴史民俗資料館（以下、「資料館」と記載）の資料を保管する収蔵施設（以下、「収蔵庫」と記載）は、基山町民の宝を収蔵できるよう温湿度管理が整った保管環境が確保され、いつでも町民の誰もが見ることができるようにする。かつ町民みなが持続的に生きる力・知識を創造できるよう、新資料館運営に民間活動団体、町民が協働で参画する仕組みをつくる。	
提案の背景	基肆城築城1350年記念事業、古代山城ハットの基山開催が、H25.9.27の新聞に公表された。折しも中央公園に新資料館建設という新聞報道がH25.9.4になされ、全国規模で多くの人びとが参集されることを意図した、実に将来ビジョンを描いた施策として素晴らしい評価を受けることであろう。反面、課題にあげる諸問題を放置することは、参集される全国の人びとに「恥」を曝す。新資料館に建設される収蔵庫には、温湿度管理を備えた十分な広さが確保され、元気な町民力を活用した整理公開、そして運営の仕組みづくりが求められる。	
提案の課題	町史編さん事業は、平成17年度から平成24年度の8ヶ年の年月をかけ、町内外から多くの貴重な資料が収集・寄贈され、現在町内各所に分散的にある雨漏り施設（現資料館ほか）や警備不良施設（プレハブ施設）に収蔵されていると聞く（6月議会【基山町HP】）。また、国の宝である特別史跡基肆城跡から出土した資料も、野ざらし状態で、資料寄贈者や国民に対して決して誇れるものではない。 さらに、限られた町職員だけで運営するには自ずと限界が生じる。新資料館の立地条件を最大限に活かす運営方針の策定と実践が課題である。	

<p>目標設定</p>	<p>町民の生きる知識と力が想像できる新資料館建設に向けて、以下の目標を設定する。①新資料館に建設される収蔵庫で、町内外に散在する貴重な資料を一括管理する。②町民の理解を促すために、収蔵資料を積極的に公開する。③立地・施設条件を最大限に活かすよう、新資料館運営に民間活力を投入する。</p>
<p>提案内容</p>	<p>中央公園内に新資料館建設が報道された。これから施設内容が検討されると聞く。課題にもあげたように、町内外から収集された基山の先人達の憂い・喜びを表す貴重な資料が、現在劣悪な環境下で放置・保管されている。その中には、国宝とでもいえる特別史跡基肆城跡出土の瓦も野ざらし状態で放置されている。折しも、H25.9.27の朝刊に基肆城跡1350年記念事業、古代山城サミット開催の報道がなされた。福岡県の関係市町と連携し、全国から多くの人びとが参集する。取り組み次第で、町おこしの起爆剤の役割を担うことは間違いないであろう。反面、貴重な資料が「課題」にあるような有り様では、あまりにも恥ずかしい。</p> <p>そこで、新資料館の建設に際し、以下の点を提案します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>●新資料館に建設される収蔵庫は、町内に散在する資料を一括管理し、同時に整理作業を進め、町民へ積極的に公開普及する。</li> <li>●立地条件（中央公園・小中学校隣接など）を最大限に活かすため、カエテラスを併設し、かつ新資料館内で他世代の人びとが集い・ふれ合う事業を展開する。</li> <li>●施設条件（資料館・図書館の併設）を最大限に活かすため、図書も資料として展示公開する。</li> </ul> <p>以上の諸提案は、町単独で実践するのではなく「協働の理念」を最大限に活かすため、積極的に町民活動団体との協働を展開する。</p> </div> <p>なお、中央公園への建設には、都市公園法により敷地面積の10%の建築面積（約1,100㎡）しか許されていない。一方で「容積率（延べ床面積）」は、隣接地域の状況から200%、つまり2階建てまでの建設が法的に許されている。加えて、中央公園は南が低く、北（小学校側）が高いという地形をしている。このことを利用し、半地下構造で、1階部分に資料館の収蔵庫ならびに町史資料室を入れ、2階部分（ただし、学校側からは1階のように見える）に資料館展示室と図書館が入り、ウッドデッキを設置しカエテラスを併設するという、変則的な構造をとることが可能である。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>建設には多くのお金と人力がかかる。多くの町民が集い楽しめる場の創設が資料館・図書館であるならば、先行投資として相応の金額が投じられることも必要であろう。間違っても、一部役場の職員のみで議論され、中途半端で、将来に課題を残し、誰も利用しない、元氣になれない施設の建設だけは避けていただきたい。中途半端な施設の建設を立案した職員は、いつか退職する。それよりは持続性を確保するためにも、真に町民のことを考え、活かせるよう町民力を結集して考え進めることが肝要である。その時は、町民も役割と責務を担うことが必要である。</p> <p>※ 提案内容は、どの地域のどの対象者に対し、どの様な体制で、どれだけの期間、どの様な事業を実施するのか、任務分担、見込費用、持続可能か等を詳しく提案して下さい。</p> </div>

※ 提案書に記載された事項のうち、提案者欄以外は公表されます。